

ノーサイド 北原 巖 男

7月10日(日)は、参議院議員選挙の投票日。

18歳を迎えた新成人隊員をはじめ自衛隊員の皆さんには、様々なご都合もあるかと思いますが、まずは最優先で投票に行きましょう。

当日、どうしても行けないことが分かっている方は、「期日前投票」の活用です。

かけがえのない一票、国民に与えられた大切な権利を必ず行使しましょう。

う。

前回(2019年)の参議院議員選挙の投票率を見てみますと、わずかに48.8%。その前(2016年)は54.7%。このような低率に留まっていたのでは、よりの良い政治は期待出来ません。変えられるのは、国民一人ひとりの投票行動の結果を置いてはかにはありません。

特に今回の特徴は、ウクライナに対するロシアの侵略行動や台湾有事の懸念、北朝鮮の動向などに対する関心の高まりを受けて、外交・安全保障を重視する比率が大変高くなっていることです。防衛力の抜本的強化・防衛費の大幅増額・反撃能力(敵基地攻撃能力)の保有などについて、どう考え、行動して行くか。

各党の公約や候補者の主義・主張、歩んで来た道や活動、人柄等について、可能な限り調べることを通じて、自分で判断・自分の考えをつくり出し、投票に臨みましょう。

「伝えよう 自分の考え 未来のため」(香川県が早速所属する隊友会支部の陸上自衛隊OBの皆さんに

今回の参議院議員選挙の投票率を見て頂きまし

新型コロナ対策、子育て・教育、エネルギー・環境、憲法等が挙げられてい

「おまえが死んだ時の身をもって責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえろ」と記した宣誓書に署名する」と記述して

「自衛官なら入隊時に」任務に取り組んでいること

「防衛は平時には意識しない死と隣り合わせだ」と

「自衛官なら入隊時に」任務に取り組んでいること

「国民として」「自衛隊員として」

この記事を見て頂きまし、皆さん揃って否定して語：5月17日KS B 瀬戸内 放送

「自衛官なら入隊時に」任務に取り組んでいること

「自衛官なら入隊時に」任務に取り組んでいること



注がれることもあると思

現在の防衛大綱は、次のように述べています。

な進展によって喫緊の課題となっており、防衛力の持続性・強靱性の観点

「防衛力の中核は自衛隊員であり、自衛隊員の人材確保と能力・士気の向上は防衛力の強化に不可欠である。これらは人口減少と少子高齢化の急速

「精神教育は、江田島の方がまわっている」と見た。

北原 巖男(きたはらいわお) 元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現日本東ティモール協会会長。(公社)隊友会理事

